

	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)		
事業名	OECD／GSF分担金			担当部局庁	科学技術・学術政策局		作成責任者	
事業開始年度	平成23年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	参事官(国際戦略担当)付		参事官(国際戦略担当) 大土井 智	
会計区分	一般会計							
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する 計画、通知等	第6期科学技術・イノベーション基本計画(令和3年3月閣議決定)			
政策	政策目標7 Society 5.0の実現に向けた科学技術・イノベーション政策			主要経費	科学技術振興費			
施策	施策目標7-3 科学技術の国際活動の戦略的推進							
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20200930-mxt_kanseisk02-000010162_01.pdf							
事業の目的 (5行程度以内)	「OECD／GSF分担金」は、経済協力開発機構(OECD)科学技術政策委員会(GSTP)の作業部会の一つであるグローバル・サイエンス・フォーラム(GSF)において、各国が主導して行う様々なプロジェクト活動に参画・寄与することにより、各プロジェクトに関する国際的な動向を集め、我が国における政策立案に役立てることを目的とする。							
現状・課題 (5行程度以内)	優先度の高い科学政策問題や地球規模の問題への科学的な側面からの検討が実施されており、我が国における政策や国際連携の立案に貢献するものである。このため、積極的な事業参画を継続するとともに、日本国内の関係者にGSFの活動内容や報告書等を適切に還元し、引き続き、我が国の政策立案に役立てていく。							
事業概要 (5行程度以内)	GSFは、特定の科学分野における新しい国際協力機会の模索や、国内及び域内の重要な科学政策決定に活用可能な国際的な枠組の構築、地球規模の問題に対する科学的側面からの検討のため、様々なプロジェクトを実施するための経費を分担するものである。直近で実施したプロジェクトは、「危機における科学動員(Covid19からの教訓)」「超大型研究基盤」「研究インテグリティとセキュリティ」「将来における研究人材」の4プロジェクトである。							
事業概要URL	https://www.oecd.org/sti/inno/global-science-forum.htm							
実施方法	その他							
補助率等	-							
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求	
	予算の 状況	当初予算(A)	10	10	10.2	12	13	
		補正予算(B)	▲0.6	▲0.7	▲0.5	▲1.1		
		令和5年度第1次補正予算				▲1.1		
						-		
						-		
						-		
						-		
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-		
		予備費等(E)	-	-	-	-		
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	9.4	9.3	9.7	10.9	13		
	執行額(G)		10	9	9.7			
	執行率(%) =(G)/(F)		106%	97%	100%			
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		106%	97%	100%			
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)			
	(項)		科学技術・学術政策推進費					
		(目)	経済協力開発機構国際機関分担金	12				13
			その他					
	計(A)		12	13				

活動内容① (アクティビティ)		各国代表団がGSF事務局と連携して、特定の科学分野における新しい国際協力機会の模索や、国内及び域内の重要な科学政策決定に活用可能な国際的な枠組の構築、地球規模の問題に対する科学的側面からの検討等を実施するため、各国代表団及びGSF事務局等が協力してGSF会合を開催する。											
↓													
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込			
		科学的側面からの検討等を実施するため、GSF定期会合を開催する。	OECD/GSF定期会合の開催回数	活動実績	回	2	2	2	2	－			
				当初見込み	回	2	2	2	2	2			
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	GSF定期会合では、科学政策における優先度等も考慮しながら新規プロジェクトの検討を進め、最終的な実施プロジェクトを決定することから、GSFが実施するプロジェクト数を短期アウトカムとして設定した。											
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度				
									－	年度			
				成果実績					件	7	6	4	6
				目標値					件	6	6	6	6
			達成度	%	116.7	100	66.7	100					
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		GSF事業実績(文部科学省集計による)											
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	GSFでは、プロジェクトの進捗に応じて2年程度かけ、ワークショップの開催による議論深化や各国の事例収集等が行われるとともに、GSF定期会合での議論が実施され、その結果が成果物として最終報告書にまとめられることから、GSF活動の成果物として対外的に発信した政策レポート数を長期アウトカムとして設定した。											
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度				
									－	年度			
				成果実績					件	3	1	1	2
				目標値					件	2	2	2	2
			達成度	%	150	50	50	100					
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		GSF事業実績(文部科学省集計による) ※各プロジェクトは2年単位で設定されているため、政策レポート数が著しく少ない場合がある。											
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由											
		－											
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由											
		－											

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位：百万円)

文部科学省
(9.7百万円)

国際的な協議・協力によって解決を図ることが求めら
れる地球規模課題に対し、科学技術面から対応する
ために、OECDが実施する事業の推進に必要な経費
を拠出。

〔拠出〕

【A】経済協力開発機構(OECD)
(9.7百万円)

地球温暖化やエネルギー問題など地球規模課
題の科学技術面からの解決等に向けて、先進国
と途上国の科学技術協力のあり方について調査、

費目・使途
(「資金の流れ」において
ブロックごとに最大の金
額が支出されている者につ
いて記載する。費目と
使途の双方で実情が分
かるように記載)

A.			B.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
経済協力開発機構国際機関分担金	OECD/GSFの活動を推進するための経費	9.7			
計		9.7	計		

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	OECD/GSF	-	GSFの活動を推進するための 経費(分担金)	9.7	その他	-	-	